

新しく生まれた風 広がる

吉川さんたち千頭駅前を考える会をきっかけに、他の地区でも活動の幅を広げようと奮闘する方たちが、この町にはたくさんいます。

大人にも気付いてほしい 身近な自然の美しさ



横山 慎一郎さん(水川区)

「この町には、子供たちの人間性を養うための教材がいたるところにある。大人にはあたりまえで無価値に見えるものでも、子供にとっては貴重なものになり得るんです」と話すのは、自然素材を使った花壇づくりで講師を務めた横山 慎一郎さん。横山さんは森林再生活動に尽力する傍ら、町の子供たちに自然界の美しさを伝える活動を行っています。

吉川さんとは、そんな活動を通して出会い、『子供たちに、川根本町の魅力を伝えたい』という想いに共感し、協力を申し出ました。「子供たちには、この町の自然をしっかりと観察してほしい。身近に

ある魅力に気が付くはず。大人たちには、『あたりまえ眼鏡』を外して、もう一度、自然界の奇跡とも呼べる、ありのままの美しさを再発見してほしい。そうした体験は必ず豊かな時間につながります」。

駅前を考える会とは、以前から交流を続けてきた横山さんですが、今回、吉川さんの呼び掛けをきっかけに、活動の幅を広げようとしています。より地域に『町の魅力』が浸透していくことに喜びつつも、「この活動が駅前や他の地域の活性化につながれば良いけど、単発の活動ではなかなか理解してもらえない。せっかくなら、長期間にわたって、深く自然に触れてもらえるような活動をやりたいな」と横山さんは話します。

「まずは、尾呂久保を中心に『学びの塾』を開いて、継続的に自然とふれあうワークショップを企画していきたい。『森づくり』から『ひとづくり』につなげる活動を、今回のイベントをきっかけに町全域に広げていければ、おもしろいんじゃないかな」と今後に期待を込めて話しました。

若い力が地域の求心力に。体制づくりが鍵



高梨 太さん(徳山区)

「若い移住者の力がこんなにも地域の活性化につながるとは思わなかった」。そう切り出したのは、(株)経営参謀静岡オフィスの高梨太さん。3年前に東京都から移住し、この町で地域活性化事業を展開しながら、積極的にインターンを受け入れています。

「吉川さんの前に雇い入れたインターンが、駅前を考える会と交流を深めたおかげで、住民に『私たちにも何かできるかも』という雰囲気ができあがった」と高梨さんは話します。駅前を考える会の人たちの中には、「変わりたいけど、何をすればいいかわからない」と

感じている人も多かったと続ける高梨さん。「駅前に漂っていた閉塞感を解く鍵は、若い移住者のアイデアと求心力だと感じた」と力強く話します。

昨年12月、町が主催した「千年の学校公開講座」に参加した高梨さんは、吉川さんの研究テーマである、新卒移住に向けた観光インターン戦略を聞き、若い世代の中にも『田舎に住みたい』というニーズがあることを知りました。

「駅前の人の想いと、若い移住者のニーズが上手くかみ合うのでは」と思った。後は誰が、どうやって若い移住者を呼び込むかだけ」。

吉川さんの活躍に手応えを感じた(株)経営参謀は、今後更に地域の活性化のために、インターンを受け入れていく予定です。

「千頭駅前を皮切りに、他地区でも活動できると確信しています。インターンが地域の中に入り込み、住民を中心に盛り上がるように働きかければ、地域の独自性は失われないまま、活性化につながる事ができると信じています」。

「あの木陰で話そうよ」

横山さんに誘われて、学びの会のイベントを終えた駅前を考える会のメンバーが集まり始めました。

「子供たちの知識欲ってすごいね。親御さんたちも驚いたんじゃない」「今日の時間が子供たちにとって何かのきっかけになるといいね」と思い思いに振り返っていると、誰ともなく「他の地区でもできないかな」と。そこから議論は、『学びの会』のようなイベントをどうやって町全体に広げていくかで持ちきりに。メンバーの想いは一貫して川根本町をどうやって盛り上げるか、町の活性化のために各々の得意分野で何ができるか。

語り合う皆さんの姿に、中原さんの言葉が思い出されます。

「トーマス号の人氣に頼らないで、自分たちでできることを」。

今、千頭駅前には比較的若い世代で、明確な目的を持った移住者が集まり始めています。そして、そんな移住者を快く受け入れる住民の方たちがいます。「若い力とそれを支える地域の人たちの理解が、継続した活性化につながるね」と

高梨さんはメンバーに語りかけます。

他の地域にも、千頭駅前を考える会のような地域活性化に奮闘する住民有志のグループが存在しています。吉川さんは「駅前の活動を他の地域の皆さんにぜひ見てもらいたい。私たちの活動はまだまだ道半ばですが、移住者のアイデアを地域に取り入れる時のヒントになれば」と話します。「将来、活性化を進めている地域が一箇所に集まって、地元の人や観光客向けの大きなイベントを町全体でやってみたいですね」と吉川さんの夢は膨らみます。

千頭駅前に吉川さんが巻き起こした新しい風は、確実に地域住民に届き、広がりを見せ、またさらなる風を生み出しています。『移住者には町のことなんて理解できない』と考え、閉塞的になってしまいうこともあると思います。それでも、『変わりたい』と考える方がいる限り、いつでも、そしてどこにでも風は吹くと、駅前の皆さんの表情が物語っています。

【特集】千頭に吹く新しい風

終わり